

財務省第10入札等監視委員会
令和4年度第1回定例会議議事概要

開催日及び場所	令和4年10月17日(月) 広島合同庁舎1号館会議室	
委員	委員 内田 喜久 (内田法律事務所 弁護士) 委員 山口 力 (広島大学大学院人間社会科学研究科 教授) 委員 中川 隆喜 (アイル監査法人 公認会計士)	
審議対象期間	令和4年4月1日(金) ~ 令和4年6月30日(木)	
契約の概要説明	審議対象期間における契約案件の概要	
抽出事案	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : (R4)合同宿舎(山口外3地区・機械)各所修繕工事 (単価契約) 契約相手方 : 株式会社サンショウ技建 (法人番号 3250001002819) 契約金額 : 7,271,000円 契約締結日 : 令和4年4月4日 担当部局 : 中国財務局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 広島合同庁舎廃棄物処理等業務 契約相手方 : 株式会社センタークリーナー (法人番号 3240001005509) 契約金額 : 3,036,000円 契約締結日 : 令和4年4月1日 担当部局 : 中国財務局
競争入札(公共工事)	1件	契約件名 : 福山税務署ほか2署照明設備改修(LED化)工事 契約相手方 : 日海通信工業株式会社 (法人番号 2240001008454) 契約金額 : 19,470,000円 契約締結日 : 令和4年6月6日 担当部局 : 広島国税局
競争入札(物品役務等)	1件	契約件名 : 乾式複写機の保守 契約相手方 : アンザイ株式会社 (法人番号 3240001000385) 契約金額 : 29,212,920円 契約締結日 : 令和4年4月1日 担当部局 : 広島国税局
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【抽出事案の説明及び審議】</p> <p>1 (R4) 合同宿舎（山口外3地区・機械）各所修繕工事（単価契約） 業務内容の説明について</p> <p>落札率が高い理由について</p> <p>2 広島合同庁舎廃棄物処理等業務 一者応札の理由について</p> <p>落札率が高い理由について</p> <p>3 福山税務署ほか2署照明設備改修（LED化）工事 応札者が多い理由について</p> <p>落札率が高い理由について</p> <p>4 乾式複写機の保守 業務内容の説明について</p> <p>落札率が高い理由について</p>	<p>山口県内に所在する合同宿舎において、散発的に発生する給排水設備からの漏水や、トイレ・風呂釜の故障等の機械関係の修繕工事にかかる工事請負契約を単価契約として締結したものである。</p> <p>単価契約の項目のうち、契約総額に占めるウエイトの高い項目について、コストダウンが図れなかった理由を落札した業者に確認したところ、本項目は電気・ガス・衛生設備と様々な工事が必要だが、作業スペースが狭く同時進行での作業が不可能であり、その手間を労務費に加算したためコストダウンが図れなかったとのことであり、このことが結果として落札率が高くなった理由と考えられる。</p> <p>入札参加を募るため業者に声掛けを行ったが、人員不足による人件費の上昇に加え、燃料費の高騰を受けコストに見合わないと判断し、参加を見送ったとの声が聞かれた。 今後同様の調達を行う際は、声掛けを行う業者数を増やすなど、対応したい。</p> <p>落札業者に確認したところ、人件費の上昇や燃料費の高騰の影響を考慮して、応札したとの回答を得ている。また、本案件の入札1回目は不落で、2回目に落札しており、落札業者は1回目で落札しなかったことで価格面の努力を行い、2回目で落札したため、結果、落札率が高くなったものとする。</p> <p>電子調達システムの利用拡大による影響に加え、競争参加資格の拡大と、早期発注による余裕を持った工期の設定などの取り組みが応札者の増加に繋がったものとする。</p> <p>予定価格は設計業者が見積した金額を参考に、最新の建設コスト情報などを活用した市場価格との調整及び調達規模を考慮して算出した実勢率を乗じて算出しており、市場価格に近い予定価格を設定したことが、高い落札率となった理由とする。</p> <p>業務内容は、広島国税局、税務署（11署）及び税務大学校広島研修所に設置する乾式複写機を購入して、毎月定期的に社員を設置場所に派遣し、常時正常な状態で稼働し得るように点検及び整備を実施するもの。 今回の調達は、乾式複写機を購入と保守の契約をそれぞれ分けており、別々の調達と誤認する内容であったため、今後は契約をまとめることができないか検討を行う。</p> <p>予定価格は今までの調達実績を参考に積算しており、市場価格に近似した価格の設定ができたことから、予定価格と入札価格が近くなったものと考えている。</p>